

北斗七星の呼び名

現在日本で最も一般的に使われている「北斗七星」という呼び名は、もともと中国で使われていた名称です。北斗七星とは「北のひしゃくの7つの星」という意味で、生をつかさどる南斗六星(いて座の一部)に対して、死をつかさどる仙人をあらわすとされていました。アラビアではひしゃくの升を「父の遺体を入れた棺」、柄の3つの星を「3人娘」と見ていました。父を殺したのは「人殺し」とよばれる北極星で、残された娘たちは棺とともに「人殺し」の周りを毎日回っているという不気味なお話が伝わっています。日本では、中国から伝わった「北斗七星」をはじめ、「七つ星」「ひしゃく星」「大ひしゃく」「四三の星(さいころの目の三と四)」「舵星」「船星」「七曜の星」など、さまざまな呼び方をされてきました。この中でも、特にわたしたちになじみのある名前が「北斗七星」と「ひしゃく星」です。水は、わたしたち人間はもちろん、生物が生きていくために絶対に必要なものです。昔の人々は、そのような水を汲む道具であるひしゃくを、とても神聖なものと考えていました。現在では、私たちの身の回りから、ひしゃくはほとんど姿を消してしまいましたが、それでも気をつけてみると、ひしゃくは現在でも、神社やお寺の入り口にあるお清めの水場や、茶道でお釜からお茶をたてる湯をくむ時、大相撲で勝った力士が次の取り組みにのぞむ力士に渡す「力水」を満たす時などに使われています。そう考えると現在でもひしゃくは神聖なものとして扱われており、その名前と呼ばれてきた北斗七星はやはり、現在のわたしたちにとっても特別な星といえるのではないのでしょうか。

(StarWatching Express「vol.23 北斗七星の呼び名」より)

地震の話(1)

東海沖地震が明日に起きても不思議ではないと言われて30年が経過しました。その間阪神淡路大震災・新潟中越地震等の巨大地震が各地で発生しました。それらの地震から、貴重な体験・資料等を私たちは得ました。これから起きると想定される地震にいかに対処しなければなりません。山梨県では平成17年5月19日に山梨県東海地震被害想定調査が発表されました。詳細内容については山梨県のホームページ(山梨県 > 総務部 > 消防防災課 > 山梨県東海地震被害想定調査)を御覧ください。



地震名	年月日	M	震源域	こいま :にお (A~ こいま
永長東海	1096.12.17	8.3	C D	
康和南海	1099. 2.22	8.2	A B	
康安南海	1361. 8. 3	8.3	A B C	
明応東海	1498. 9.20	8.3	C D E	
慶長南海・東海	1605. 2. 3	7.9	A B C D	
宝永南海・東海	1707.10.28	8.4	A B C D E	
安政東海	1854.12.23	8.4	C D E	
安政南海	1854.12.24	8.4	A B	
昭和東南海	1944.12. 7	7.9	C D	
昭和南海	1946.12.21	8.0	A B	

ニッコウキスゲを見に行こう～

ホームページを見ていたら車山のニッコウキスゲが丁度見頃、天気も曇り時々晴れと言うことで急きょ見に行くことに決定。ロソンでおにぎりを買って朝7時に出発！甲府昭和ICより中央道に乗り、諏訪ICで降りR152号で白樺湖、ピーナスラインを経て車山駐車場へ到着。駐車場はまだすいていましたが後から後から車が入ってきました。リフト乗り場から車山を望むとなだらかな緑の草原が広がる中にニッコウキスゲの群生が点在していました。間近で見ようと歩いて登っていかうと思



っていました。子供がリフトに乗ったことがないので乗りたいと言うのでスカイライナー(車山山頂に行くには+スカイパノラマ)に乗りました。リフトを降り左右に点在するオレンジ色のニッコウキスゲの群生に見とれながら上り下りし、八島ヶ原湿原まで行ってしまいました。ここまで来て気づいたことは、またここから元の駐車場まで戻らなくてはならないこと、今来た道を戻る・・・？別ルートで・・・最初は平坦な道でしたが沢渡より割合急な上り坂を登り車山肩へ、そこには密度の高いニッコウキスゲの群生地が現れました。着くやいなやどしゃぶりの雨、急いで近くの売店に逃げ

込みました。店の反対側を見るとそこには大きな駐車場とピーナスラインが・・・。最初からここに来ればと思いながら雨がやむのを待っていました。山肌を雲が駆け上がる時に見えるニッコウキスゲの花が神秘的に見えました。雨上がりの滑る山道を駐車場へと戻っていきました。帰りは諏訪湖へ行き、間欠泉センターの隣にある足湯に入り疲れを癒してから帰路につきました。今年の開花情報ハイキングマップ等は<http://www.kurumayama.com/> で確認できます。

亜高山～高山帯の草原や湿地に群生する多年草。

大群落をつくることが多く、一面黄色く染まった草原や山の斜面などは「お見事」と、言う以外なし。

朝咲いた花は夕方にはしぼんでしまう1日花で、花が黄色く、葉がスゲの仲間に見えることからニッコウキスゲと名付けられた。



H17.7.16撮影



ニッコウキスゲ(日光黄菅)
Hemerocallis dumortieri var. *esculenta*
別名:ゼンテイカ
ユリ科(LILIACEAE)キスゲ属